

台風10号被害による災害救援ボランティア情報（第3号）

発行：北海道社会福祉協議会

発行日：平成28年9月2日（11：00時点）

○南富良野町

- ・9月1日に災害ボランティアセンターが設置されました。
- ・9月2日午前中に北海道社協職員（3名）が到着し、現地社協職員とともにニーズ調査、ボランティア受け入れのための体制整備他、活動に必要な資機材を準備している所です。
- ・現在、地元社協職員27名、地元の学生を中心としたおよそ40名程度と近隣の市町村社協職員15名程度の協力により対応にあたっております。
- ・外部のボランティア受け入れ詳細については、改めてお知らせいたします。

○音更町

- ・先遣隊として、道社協職員2名、全社協職員他3名とともに、本日現地確認を行いました。
- ・冠水等については、現地で対応にあたっており、支援の必要性はない模様です。

○芽室町

- ・行政との協議の中で、災害ボランティアセンターの設置は行わずに、行政で設置する防災対策本部に社協が協力する形で検討中です。
- ・町内介護保険施設を避難場所として、5箇所を開設しました。なお、デイサービス施設では、障害者対応避難所として活用しています。
- ・5箇所の避難所では、概ね250名が避難している状況です。
- ・先遣隊として、道社協職員2名、全社協職員他3名とともに、本日現地確認を行います。

○清水町

- ・ペケレベツ川沿い、西清水地区等約100戸の家屋が浸水等による被害がある状況です。
御影地区：浸水して孤立しており、御影地区に通じる道路も通行止め、電話が不通となっております。現在、詳細な被害状況把握に努めています。
- ・現地社協職員も避難所対応に回っています。
- ・被害状況に応じた災害ボランティアセンターの設置については、行政と検討・協議中です。
- ・先遣隊として道社協職員2名、全社協職員他3名とともに、本日現地確認を行います。

○新得町

- ・「一心の1」、「神社」、「親交」の3地区で、住家被害や冠水等により概ね57戸程度の住宅が被災しており、そのうち2戸の住宅が流されている状況。特に神社地区が孤立しており、20戸程度27名ほどが避難所に避難しています。
- ・町内の避難所は1カ所あり、神社地区の避難者も併せて36名程避難しています。
- ・地元のボランティア12名程度が対応にあたっている模様です。
- ・現在、断水しており、機材故障等の影響もあり、復旧に1カ月程度要する模様です。
- ・現在も被害状況の把握に努めています。
- ・災害ボランティアセンターの設置については、行政と検討・協議中です。
- ・先遣隊として、道社協職員2名、全社協職員他3名とともに、本日現地確認を行います。

○今後の情報発信について

- ・ 9月2日11時時点で把握している情報です。今後、状況が変わる可能性があります。
- ・ 今後の最新情報については、本会ホームページ等、下記にて情報を随時更新しておりますので、御確認ください。

◆北海道社会福祉協議会 <http://www.dosyakyo.or.jp>

◆北海道ボランティアセンターブログ
<http://blog.canpan.info/d-vola/>

北海道社会福祉協議会／北海道ボランティア・市民活動センター
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1
北海道社会福祉総合センター2階
電話：011-271-0683 FAX：011-271-3956
E-mail:d-vola@dosyakyo.or.jp